

(学校用)

様式 A-1

平成 24年 9月 10 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 山梨県立都留高校 芦沢 友也
2. 講師氏名: Abdelhak talbi
3. 同行者氏名: \_\_\_\_\_
4. 実施日時: 平成 24年 2月7日 (火) 14:03 ~ 15:50
5. 参加生徒: 1 年生 80人、 2 年生 人、 年生 人 (合計 人)  
備考: (例:理数科の生徒) SSH の生徒
6. 講演題目: (英文) Squeezing time for information  
(和文)
7. 講演概要:  
概要 先生の経歴、なぜ数学を学び、地震を専攻するようになったのかから始まった。どのような場所で地震が起こり、それにはプレートが関係していることを学んだ。マグニチュードは断層の大きさを計算されること、つなみが起こるのは逆断層のときがほとんどであることも学んだ。カラフルなスライドを多数用意していただき、視覚的にも分かりやすい内容であった。この1年、日本では地震に対する関心がさらに高まる中、今回の講義はとて有意義なものであった。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 80 分 質疑応答時間 20 分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
同行者によるサポート
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
パワーポイント中の単語確認、出身国の紹介専門分野を理数科の教員から事前講義
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): なし
11. その他特筆すべき事項: